

**令和4年度進行管理・評価シート**  
**恵那市 歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）**  
（最終変更 令和3年3月15日）

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式1-1）	
1 計画実現のための体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1-2）	
1 重要伝統的建造物群保存地区での取り組み	2
2 景観形成に関する取り組みについて	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1-3）	
1 岩村城石垣修理事業	4
2 岩村城下町まちなみ保存事業	5
3 岩村城登城道整備事業	6
4 ポケットパーク整備事業	7
5 中央公園整備事業	8
6 中山道保存修景整備事業	9
7 祭礼復興事業（武並宮御祭礼規定に基づく祭礼）	10
8 ふるさと文化普及継承事業	11
④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1-4）	
1 文化財の防災	12
2 文化財の普及・啓発	13
⑤効果・影響等に関する報道（様式1-5）	
1 報道等	14
⑥その他（効果等）（様式1-6）	
1 歴史・文化に対する住民意識の向上	15

□法定協議会等におけるコメントシート（様式2）	16
-------------------------	----

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
計画実現のための体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 歴史まちづくり事業は、歴史、文化、観光、建設、都市整備等の多岐に渡る分野に関連するため、本市では「歴史まちづくり連絡調整会議」を設置し、関係課(事業担当部課)間の横断的な連絡調整を行うものとする。

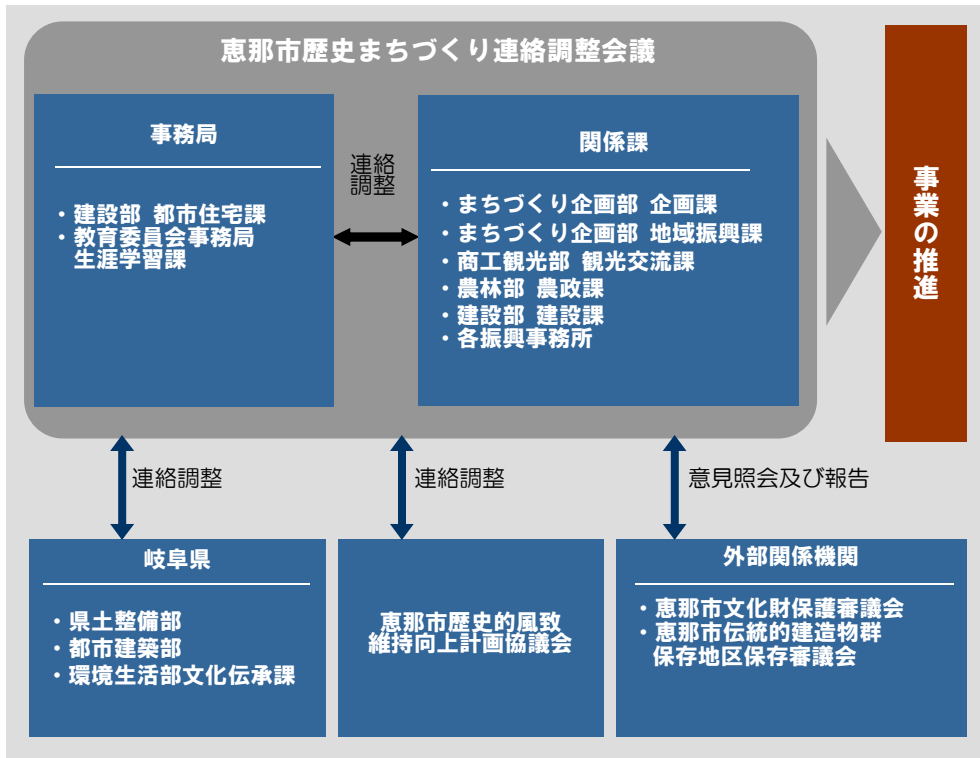
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市住宅課・生涯学習課等関係課から構成される「歴史まちづくり連絡調整会議」を随時開催し、関係課間の連絡調整、事業施工に関する打合せを行った。  
 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会を令和4年5月27日に開催し、進捗評価について意見聴取及び協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



■恵那市歴史的風致維持向上計画協議会  
 ○令和4年5月27日開催  
 審議事項  
 令和3年度進捗評価について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区での取り組み			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区に選定(平成10年4月)されている岩村町の商家町について、歴史資源として積極的に保存や活用を行ってきた。 岩村町全体のまちづくりに関わる組織である「城下町ホットいわむら」は、本町通りにおけるさまざまなイベントの企画・実施を行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
保存地区内の建物で現状変更を行うときには、保存計画に定める方針・基準に従い、岩村城下町まちなみ保存事業を活用しながら実施している。また必要に応じて文化庁及び県環境生活部文化伝承課の指導、助言を受けている。令和4年度は国庫補助金で4件の修理補助を実施し、歴史的建造物の保存整備を図った。 【事業費:22,067千円 補助額:11,313千円(4件分) 工期:4月から3月まで】			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



修理前

修理後

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
景観形成に関する取組について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 景観法に基づく景観計画の策定に向けて、平成20年度より庁内関係部課、学識経験者及び地域住民等で構成する景観計画策定委員会にて恵那市全域の方針や規制の検討を行うとともに、平成21年度からは、地域住民等で構成する地域ワークショップの開催等を通じて地域毎の景観の形成に関する基本方針や行為の制限について併せて検討を行っている。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

恵那市景観条例、恵那市景観条例施行規則は平成24年4月1日に施行済みである。景観計画区域内行為の届出に関する規定は、平成24年10月1日から施行している。  
 令和4年度は、34件の事前協議と、28件の景観計画区域内行為の届出があった。（令和5年3月31日現在）  
 これらの規制誘導により、歴史的風致を維持することができている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

景観計画区域内の行為の制限

(1) 建築物の建築等/工作物の建設等

区分	基準の内容															
配置 形態・意匠 材質	<p>○主要な眺望点からの山並みや自然景観への眺望を阻害しない配置とする。</p> <p>○周囲の自然景観や集落景観、町並み、田園等と調和するような配置、形態意匠とする。</p> <p>○壁面の規模が大きな建築物・工作物は、威圧感や圧迫感を低減させるよう形態意匠を工夫する。また大面積に具象な絵柄や必然性のないデザイン、華美な装飾を施さないようにする。</p> <p>○光沢のある材料や反射光の生じる素材を大部分にわたって使用することは避ける。</p>															
高さ	<p>○建築物および工作物の高さの制限は以下のとおりとする。（ただし市長が認めるものはこの限りでない）</p> <p>○ただし、以下の基準内の高さであっても、主要な眺望点からの山並みや自然景観への眺望を阻害しないようにする。</p> <table border="1"> <tr> <td>用途地域内</td> <td>25m以下（7～8階相当）</td> </tr> <tr> <td>用途地域外</td> <td>15m以下（4～5階相当）</td> </tr> </table>	用途地域内	25m以下（7～8階相当）	用途地域外	15m以下（4～5階相当）											
用途地域内	25m以下（7～8階相当）															
用途地域外	15m以下（4～5階相当）															
色彩	<p>○素材の持つ自然色を生かし、彩度、明度の高い色彩を基調色として用いないようにする。また農村地域においては、周辺の農地や自然景観に調和した色調とする。</p> <p>○外観の色彩は以下のとおりとする。ただし、着色していない木材、土壁、ガラス等の材料によって仕上げられる部分の色彩、見付面積の1/10未満の範囲内で外観のアクセント色として着色される部分の色彩についてはこの限りでない。</p> <p>○使用する色数はできる限り少なくし、複数の色を使用する場合は、色の三属性（色相、明度、彩度）の対比が強くないよう配慮する。</p> <p>○マンセル表色系※による色彩の基準は以下のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>色相</th> <th>彩度</th> <th>明度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R(赤)、Y(黄)</td> <td>4.0以下</td> <td>制限なし</td> </tr> <tr> <td>YR(黄赤)</td> <td>6.0以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>GY(黄緑)～RP(赤紫)</td> <td>2.0以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>N(無彩色)</td> <td>制限なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【P. 22 参考資料参照】</p>	色相	彩度	明度	R(赤)、Y(黄)	4.0以下	制限なし	YR(黄赤)	6.0以下		GY(黄緑)～RP(赤紫)	2.0以下		N(無彩色)	制限なし	
色相	彩度	明度														
R(赤)、Y(黄)	4.0以下	制限なし														
YR(黄赤)	6.0以下															
GY(黄緑)～RP(赤紫)	2.0以下															
N(無彩色)	制限なし															

【提出された区域内行為届出の種類】

- ・建築物(新築): 9
- ・建築物(増築): 1
- ・建築物(新築)及び工作物(新築): 1
- ・建築物(変更): 1
- ・建築物(外観の変更): 1
- ・開発行為(新規): 8
- ・開発行為(変更): 1
- ・開発行為(新規)、土地の形質変更: 3
- ・工作物(新築): 2
- ・工作物(外観の変更・修繕): 1

※事前協議はすべて建築物(新築)

※マンセル表色系：どのような色（色相）が、どれくらいの鮮やかさ（彩度）で、かつ、どれくらいの明るさ（明度）で使用されているかを表現する数値

(2) 開発行為/土石の採取等における土地の形質の変更

基準の内容
○造成は必要最小限とし、既存の地形・樹木などの自然条件を活かすことで、景観上の違和感を生じさせないようにする。
○現況の地形を可能な限り活かし、長大なり面や擁壁が生じないようにする。長大な擁壁やのり面が生じる場合は、前面を緑化するなど周囲の景観と馴染ませるよう努める。
○擁壁については高さを極力抑える。
○土石の採取等については、景観体験軸に設定した道路・鉄道等から容易に望見できないよう掘削位置及び方法を工夫する。
○土石の採取後は、地域の自然植生と調和した緑化を行い、自然環境及び景観の復元に努める。

(3) 屋外における土砂・廃棄物・再生資源その他の物件の堆積

基準の内容
○景観体験軸に設定した道路・鉄道等から望見できる範囲においては、長期に渡り土砂、廃棄物、再生資源等の堆積は行わない。
○堆積を行う場合は、景観体験軸に設定した道路・鉄道等から堆積物が見えないよう配置を工夫する。それが困難な場合は、植栽や塀を設ける、積み上げ高さを低く抑える等の配慮を行う。



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
岩村城石垣修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 標高717mの急峻な山の頂に築造された近世山城の代表・岩村城を支えてきた石垣である。これまで修理が行われてきたが、木の根や流水等によって石が浮いたり、孕んだりしている箇所も見られ、一部、崩壊の危険性の高い箇所も見られる。  
 本石垣は、本丸等が無くなった現在においても、城下町の形成と発展を牽引してきた岩村城の基礎として、地域の歴史を物語る大きな拠り所となっている。当事業により石垣の修理を行うことで、地域の歴史的風致の維持を図ることができる。  
 事業概要: 崩壊の危険性の高い石垣の修理(対象面積: 約300㎡)。石垣支障木の伐採。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は、地域のボランティアによる草刈り・清掃作業の際に、石垣に生えた雑草等の除去を6月5日、9月10日に実施し、地域の歴史的風致の維持を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



石垣の清掃



中学生も参加

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
岩村城下町まちなみ保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 国宝・重要文化財等保存整備費補助金  
市単独事業

計画に記載している内容  
重要伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物に対し、修理修景に助成を行うことにより、後継者不足や修理費用の負担、また火災等の災害による歴史的建造物の滅失・荒廃といった課題を解決し、歴史的建造物を保護することで、歴史的風致の維持向上を図る。  
事業概要：重要伝統的建造物群保存地区内の家屋の保存修理、防災事業等。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

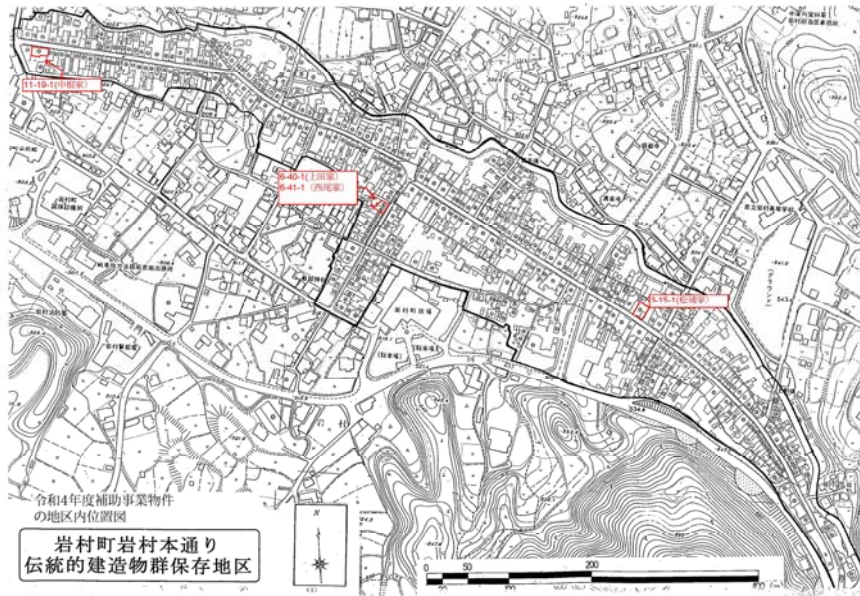
伝統的建造物群保存地区内の建物4件の修理修景に助成を行い、歴史的建造物の保護による歴史的風致の維持向上を図った。

主な家屋修理内容：4軒の外壁・扉・屋根の修理  
【事業費：22,067千円 補助額：11,313千円(4軒分) 工期：4月から3月まで】

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



中根家(2か年工事のため4年度は基礎工事)



修理事例(修理前)



修理事例(修理中)



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
岩村城登城道整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容  
 ・岩村城への登城道及び付近の修景整備  
 ・案内標識の設置  
 ・ベンチの設置等

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は、国土交通省の補助金も用いて三重檜から八幡曲輪へと登る一部の登城路の舗装工事を行った。これにより、観光客などの利便性が向上した。  
 (事業費:6,873千円)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



三重檜付近の舗装工事



歩きやすくなった登城路

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
ポケットパーク整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 明治天皇大井行在所の敷地内の老朽した建物を除去し、その跡地を駐車場兼ポケットパークとして整備した。このことにより、良好な景観を形成するとともに、ベンチ、遊具を設置することにより、来訪者や地域住民の利便性の向上を図り、歴史的風致の維持及び向上を図ることができた。

令和4年度は大井行在所を駐車場広場として整備した。芝生やベンチなどを置いた緑化スペースと駐車場を整備し、今後はイベント会場にも使用していく予定である。  
 【事業費：30,098千円】

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針 (自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



行在所駐車場スペース



緑化スペースと遊具も設置



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
中央公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 恵那市の中心部に位置し、市民の憩いの場である中央公園(昭和49年(1974)整備)は、市民ニーズから乖離しており、新たに整備することが必要となっている。良好な市街地の維持及び向上、来訪者の利便性を高めるため、憩いの空間として整備する。  
 県道恵那停車場線沿線は、明治期に開通した岩村軌道により発展し、市街地を形成した。中央公園は、JR恵那駅から南約500mの場所に昭和49年に市民の憩いの場として設置した。市街地に設置した中央公園を新たに整備することにより、良好な市街地の維持及び向上が図られるとともに、中山道を訪れた来訪者の利便性の向上を図り、歴史的風致の維持及び向上に寄与することができる。  
 事業概要: 中央公園の再整備

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年7月より改修工事開始。  
 令和5年6月に「子育て世代を中心に、多世代が交流できる公園」として、リニューアルオープン予定。  
 【事業費: 190,000千円】

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

海外情勢の変化に伴い、輸入品である遊具の部品の納期遅延が発生。  
 令和5年5月末まで工期を延長することになった。

状況を示す写真や資料等



事業箇所



再整備計画図



改修工事の様子

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
中山道保存修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 中山道は、江戸時代の五街道の一つであり、大湫(瑞浪市)以東、藤村・竹折村・久須見村四ツ谷・中野村を経て、美濃十六宿の一つ大井宿に至り、ここより茄子川・干旦林を通り中津川宿を抜ける。この行程中、中野・大井あたりは平坦地で、通行する幕府や諸藩の諸荷物や参勤交代行列、一般の人馬の宿泊・休憩所として賑わった。現在も中山道は来訪者が多く訪れ非常に親しまれている街道であるとともに、七日市や渡御行列が行われる重要な場所でもある。この中山道を良好に保存し環境整備をすることにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。  
 事業概要: 中山道沿線の草刈り、利便施設の維持管理に対する助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地区内の中山道及び沿線の利便施設(甚平坂公園、西行苑、深萱休憩所、四ツ谷集会所)の維持管理を行っている沿線4地区の保存会の活動に対する助成を行った。これにより、中山道の環境が整備された。  
 【助成額: 279千円 (4地区)】

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和4年度実績

- 【中山道岡瀬沢保存会】 甚平坂公園及びトイレの清掃(毎月)、全会員による一斉清掃(1回)
- 【武並地区中山道保存会】 地区内中山道の清掃活動(年1回)
- 【中山道西行保存会】 西行苑便所及び周辺の清掃(年3回)
- 【中山道四ツ谷地区保存会】 四ツ谷集会所トイレ(一般開放)の清掃・管理(週1回)、草刈り清掃(年2回)



中山道沿線保存会による清掃

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 毎年10月第1週の土曜日から日曜日にかけて行なわれる「岩村町秋祭行事」は、岩村城を築いた加藤景廉の子である景朝のご神体を神輿に乗せ、時代衣装を身にまとった総人員約300人が長さ300mに及ぶ行列を整え武並神社を出発し、岩村町本通り(重要伝統的建造物群保存地区)約1.7kmを練り歩き、景廉が祀られている八幡神社に運ぶ。翌日、神輿は再び行列によって武並神社に帰る。行列の役割・内容などは、嘉永5年の「武並宮御祭礼規定」にある次第から変化しておらず、行列中の御神馬に使用する飾馬具類は、天保の頃のものを使用されていることから傷みが目立っている。祭りに使う衣装類の計画的な整備を行うなど、地域で長年受け継がれている伝統行事を支援することで、歴史的風致の維持向上と地域住民の景観形成や歴史文化に対する意識の向上を図る。  
 事業概要: 岩村町秋祭行事の祭礼衣装等の整備。

定性的・定量的評価 (自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は行事を簡素化し行った。市からは衣裳などの修理費用にかかる補助を行った。5年度からは再度岩村町秋祭行事を行う予定である。  
 【助成額: 412千円】

実施・検討にあたっての課題と対応方針 (自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



神輿渡御の様子(令和4年度)



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
ふるさと文化普及継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

宿場町大井地区を中心として、文化財等の文化遺産について、広く市民、来訪者に啓発することにより、歴史文化に対する意識の向上を図る。また、祭礼行事や歴史文化に関する伝承や後継者を育成することにより後世に渡って良好な歴史的風致を維持することができる。  
 事業概要:文化財等の保存・活用に関わっている団体やまちづくり協議会等の地域組織と連携をとりながら、文化財等の普及啓発活動を行う。また、地域住民や学校などに働きかけイベントや講習会の実施、歴史遺産の調査を行うことで歴史文化に関心をもっていただくとともに、後継者の育成に努める。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は新型コロナウイルスの影響も薄くなり、恵那市伝統芸能大会等を実施することができた。市指定文化財の浅間七福漫才や地域で活発に行われている地芝居(地歌舞伎)などの披露もあり、市民が郷土芸能や文化に触れる機会を設けることができた。今後も地域の芸能活動を応援していく。

【助成額170千円】

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和4年度恵那市伝芸能大会:だんまり



浅間七福万歳

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財を火災や盗難から守るためには、文化財及びその周辺の状況を事前に把握しておく必要があるため、消防本部、警察署等と市内の文化財について建造物を中心に所在場所の情報を共有し連携を強化するとともに、査察を行ったり啓発ポスターを配布したりすることにより予防に努め、主要な建造物の消火訓練や連絡体制の確認を行い文化財の防火防災に対する意識の高揚を図る。  
 盗難、毀損等の人的な災害に備えるため、担当課署は歴史的建造物のパトロールを随時行う。  
 また、消防設備の整備にあたっては、周辺の景観に調和したものとし、今後修理が行われる「岩村藩鉄砲鍛冶加納家」や「木村邸」については、火災報知器等の設備の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・令和5年1月16日 岩村歴史資料館の防火訓練。(参加者5名)
- ・令和5年1月26日 市指定有形文化財の中山道ひし屋資料館の防火訓練(参加者数7名)
- ・令和5年1月30日 市指定有形文化財の明治天皇大井行在所の防火訓練(参加者6名)
- ・令和5年1月28日 こども夜回り(重要伝統的建造物群保存地区:参加者18名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伝建地区でのこども夜回り(日中実施)



中山道ひし屋資料館での防火訓練

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を作り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努める。  
市内の小中学校の児童・生徒に、地域の祭礼等伝統行事を郷土学習として学ぶよう学校を通じて依頼することにより担い手をつくり、伝統的な祭りを維持していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は、小学生が社会見学にしし屋資料館を訪問し、民具などを見ながら往時の人々の生活の様子を知ることができた。また、中山道の観光案内ボランティアを養成するため、年4回のかたりべの会養成講座を実施した。明治天皇大井行在所での座学によるワークショップや、中山道の現場を歩き、沿線史跡の説明を聞くなど市民の興味を持ち、若干であるが、ボランティア加入の申し出もあるなど良い結果となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和4年度に行った主な行事  
 6月5日/9月10日 岩村城清掃活動 参加者総数287名  
 5月28日 第1回かたりべ養成講座(大井宿見学)17名  
 6月18日 第2回かたりべ養成講座(中山道散策)22名  
 9月24日 第3回かたりべ養成講座(中山道散策)22名  
 2月23日 第4回かたりべ養成講座(行在所で座学)23名



本陣での説明



中山道沿線の石塔の説明を



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	評価対象年度 令和4年度 掲載紙等
古い町並みを守るために火災予防を呼びかける		R5.3	広報えな

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年1月28日に重要伝統的建造物群保存地区の岩村町本通りを少年消防隊岩村地区の隊員が、文化財の火災予防を呼びかけるために「こども夜回り」を3年ぶりに実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



1 / 28

古い町並みを守るために  
火災予防を呼びかける

重要伝統的建造物群保存地区の岩村町本通りで、市少年消防隊岩村地区の隊員らが、3年ぶりに「こども夜回り」を行いました。雪の残る寒空の中、拍子木を打ち鳴らし「岩村町を火災から守りましょう」「出かける前に火の元を確認しましょう」と火の用心を呼びかけました。

広報えな掲載記

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目  
歴史的風致に対する市民意識の向上

計画に記載している内容  
本市の歴史資源などを紹介するパンフレットを一層充実させ、各種イベントやシンポジウムの開催時などに配布する。また併せて、歴史文化を紹介する市のホームページの充実を図る。また、地域活動組織やNPO等と行政の共同により講演会の開催を行い、歴史的風致を活かしたまちづくりを進める。  
企画段階から市民に参加を促し、市の文化財や地域に対する理解と愛着を増進させることにより意識の向上を図り、文化財の保存・活用、まちづくりに繋げていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和4年8月に行われた「恵那市市民意識調査」の中で、恵那市のまちづくりについて(自然、まち並み、歴史・文化関係)尋ねる設問があり、今後も継続的に結果を観察することで、歴史まちづくりの効果を経年的に把握する。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○恵那市市民意識調査 問3「恵那市のまちづくりについてご意見がありましたら、下記の項目より1つ選んで○をつけ、自由にご記載ください。」  
まちの魅力について(自然、まち並み、歴史・文化関係): 21件  
意見を注視し、歴史まちづくりの効果を把握する。

問4「恵那市のまちづくりについてご意見がありましたら、下記の項目より1つ選んで○をつけ、自由にご記載ください。」

恵那市総合計画に基づく分類		件数
1	暮らしについて(子育て、雇用、健康、福祉関係)	104
2	生命と財産について(医療・救急、防犯・交通安全、防災関係)	48
3	まちの魅力について(自然、まち並み、歴史・文化関係)	21
4	便利な暮らしについて(幹線道路、移動、買い物、生活基盤関係)	119
5	いきいきとした暮らしについて(教育環境、生涯学習関係)	14
6	まちづくりについて(移住定住、地域自治、まちづくり関係)	40
7	まちの産業・観光について(産業振興、観光交流、循環型社会関係)	15
8	市政の運営について(行政サービス関係)	27
9	その他	69
合計		457

(1) 性別・年齢別の集計一覧

設問概要	項目	全体	性別				年齢別			
			男性	女性	答えない	～29	30～49	50～69	70～	
問3	N	1,268	600	643	17	84	294	488	311	
まちづくりについて [複数回答]	暮らしについて(子育て、雇用、健康、福祉関係)	17.2%	15.2%	19.0%	17.6%	11.9%	24.5%	15.6%	15.8%	
	生命と財産について(医療・救急、防犯・交通安全、防災関係)	11.0%	11.3%	10.7%	5.9%	4.8%	11.6%	10.7%	12.2%	
	まちの魅力について(自然、まち並み、歴史・文化関係)	3.0%	5.0%	1.2%	0.0%	7.1%	2.4%	2.9%	2.6%	
	便利な暮らしについて(幹線道路、移動、買い物、生活基盤関係)	19.3%	17.7%	21.2%	17.6%	20.2%	11.6%	19.5%	26.7%	
	いきいきとした暮らしについて(教育環境、生涯学習関係)	2.1%	2.5%	1.9%	0.0%	4.8%	1.4%	1.8%	2.3%	
	まちづくりについて(移住定住、地域自治、まちづくり関係)	4.8%	6.0%	3.9%	0.0%	2.4%	4.4%	5.7%	2.9%	
	まちの産業・観光について(産業振興、観光交流、循環型社会関係)	2.6%	4.0%	1.4%	0.0%	1.2%	2.0%	3.1%	3.5%	
	市政の運営について(行政サービス関係)	3.3%	3.3%	3.3%	5.9%	3.6%	2.7%	4.1%	2.9%	
	その他	4.1%	5.3%	3.1%	0.0%	4.6%	6.5%	3.9%	2.9%	
	無回答		32.6%	29.7%	34.4%	52.9%	39.3%	33.0%	32.8%	28.3%

○意見(抜粋)

- ・歴史・文化を大切にしながらも、誰かが思いきった発想のまちづくり事業の項目を具体的に提案出来る機会が出来る「場」がほしい。
- ・恵那市のまち並みや、歴史をもっとよくアピールすべきだ。SNSなどの活用がまだ不十分だ。
- ・歴史ある街なみや自然を大事にするのは良いと思う。しかし、10～20代の若者には魅力がないのでは。防犯の問題をクリアする必要はあるが、遊技場のような施設も欲しい。個人的には複合アミューズメント施設(カラオケやスポーツの複合施設)。若い世代には恵那はベッドタウンの感覚ではないだろうか。中山道広重美術館では洋画の展示会はできないか？

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和5年5月18日(木曜日)	
<p>(コメントの概要)</p> <p>◆岩村城石垣修理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重櫓付近の置橋土台の正面にコンクリートの構造物がある。何とか石垣に変更できないか。</li> <li>・修復時に違う素材でやってしまい、歴史の痕跡として残ってしまったというケース。時代考証の中で昔の素材に戻すべきか、どこに標準を合わせて直していくべきか大いに議論すべき内容といえる。次の計画を作る際にはスポットを当てるべき項目だと思う。</li> </ul> <p>◆ふるさと文化普及継承事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料だけを見ると、17万円だけで賄っているように思える。他の事業の資料では、市民がどのように動いたなどが報告されている。地歌舞伎が残るということは、力の入れどころだと思う。もう少し詳しい説明があると、地歌舞伎を支えている仕組みがわかるのではないかな。</li> </ul> <p>◆中央公園整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の中心部に元々あった公園をリニューアルし、再び多くの市民が利用できる公園にするという内容であるが、この公園を計画に載せる中でストーリーやデザインはどれほど練られたものなのか。</li> <li>・今後、地域の拠点としてソフトの事業と絡めていけるとこの計画の内容に沿ってくると思う。</li> </ul> <p>◆全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の事業評価・進捗については概ね良い。</li> <li>・恵那市歴史的風致維持向上計画それぞれの事業がどのように繋がってくるか、総じて何を作ろうとしているのかが見えてこない。計画の次の段階が見えてこないのが懸念される。令和11年度まで計画を続けていく中で、計画の内容を見直ししていてもいいのではないかな。</li> </ul>	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の意見を聞き、必要に応じて適宜事業計画の見直しを行う。</li> </ul>	